【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年12月5日(2019.12.5)

【公開番号】特開2017-202197(P2017-202197A)
【公開日】平成29年11月16日(2017.11.16)
【年通号数】公開・登録公報2017-044
【出願番号】特願2016-96545(P2016-96545)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　５１４Ｈ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１６Ｆ

【手続補正書】
【提出日】令和1年10月24日(2019.10.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、
通常区間では、所定の抽選結果となった遊技において、遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知する場合を有していないよう構成され、
有利区間では、前記所定の抽選結果となった遊技において、遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知する場合を有するよう構成され、
有利区間における遊技の実行に応じて更新可能な所定の記憶手段を備え、
特別の図柄組合せが停止表示された場合には特別遊技状態に移行可能とし、
特別遊技状態が終了する前の遊技であっても、前記所定の記憶手段に記憶されている情報が有利区間を終了する値となった場合には、有利区間を終了するよう構成されている
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】遊技機
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、有利区間を備える遊技機に関するものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００４】
本発明が解決しようとする課題は、有利区間から通常区間への移行を適切に行うことである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。
本発明は、
遊技区間として、通常区間と有利区間とを有し、
通常区間では、所定の抽選結果（小役Ｂ群又は小役Ｃ群（押し順ベル）当選）となった遊技において、遊技者に有利なストップスイッチの操作態様（正解押し順）を報知する場合を有していないよう構成され、
有利区間では、前記所定の抽選結果となった遊技において、遊技者に有利なストップスイッチの操作態様を報知する場合を有するよう構成され、
有利区間における遊技の実行に応じて更新可能な（１遊技ごとにカウント値をデクリメントする）所定の記憶手段（上限カウンタ６９ｂ）を備え、
特別の図柄組合せ（「赤７」－「赤７」－「赤７」）が停止表示された場合には特別遊技状態（１ＢＢＡ遊技）に移行可能とし、
特別遊技状態が終了する前の遊技であっても、前記所定の記憶手段に記憶されている情報が有利区間を終了する値（「０」）となった場合には、有利区間を終了するよう構成されている
ことを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明によれば、有利区間から通常区間への移行を適切に行うことができる。